

アウトドアスキルUPセミナー 兼 自然体験活動指導者養成講習

趣旨 災害時を想定した環境での生活体験や様々な自然体験活動を通して、アウトドアスキルの向上を図るとともに青少年の自然体験を魅力的かつ安全に進められる信頼性の高い指導者の養成を目指す。

企画運営のポイント

- 国立公園のフィールドを活用した演習を取り入れ、受講者の実践につながるよう意識した。
- 講師と密に連絡を取り合い、事業全体の中での各演習の位置づけを意識してもらうことで、学びの連続と発展を心がけた。

期日 令和6年10月12日(土)～14日(月祝)

参加 女性5名、男性10名 計15名

内容 <10月12日(土)>
①青少年教育を学ぶ！

講師：山下達也（日高青少年自然の家所長）
松浦賢一（日高青少年自然の家次長）

<10月13日(日)>
②山小屋デイキャンプ♪&トレッキング in 国立公園
③災害時に活かせるナイトプログラム

講師：金村孔介氏（NPO法人どころ野外学校ガイド）

<10月14日(月祝)>
④自然体験をさわるめ！

講師：上ノ澤千尋氏（日本シェアリングネイチャー協会トレーナー）

参加者の声

- ・ 青少年教育の必要性について知ることができた。学習指導要領の野外活動は目にしない部分なので、勉強になった。
- ・ 山小屋の過ごし方や登山の違う楽しみ方を知った。リスクマネジメントは自分自身に応用できそう。
- ・ 実際に指導をされている方から指導のポイントや注意点を教えてもらったため、高まったと思う。
- ・ 講師の的確なアドバイスが、場所とタイミングを考慮したものだと知り、大変参考になった。
- ・ 南極の具体的な話が興味深かった。災害が起こったらどうやって対処するかを学べてよかった。
- ・ 自然をまじまじと見ることがなかったので、あらためて見ると色んな違いや面白いことがあるとわかった。
- ・ 落ち葉だけでも、沢山の遊びや学びがある事に気付かされた。
- ・ 目的に沿った適切なプログラムと優れた講師の事業であった。
- ・ 活動主体の企画で面白みを感じた。様々な方々との交流をもてたのがよかった。

【成果】

○受講者の「実際に指導をされている方から指導のポイントや注意点を教えてもらったため、高まったと思う。」という声から今回の講習を通じて、自身の指導技術の向上を実感している。

登山や山小屋生活体験など、体験活動を通して、様々な技術に触れることで、指導者としての資質向上を目指すよい機会になった。

○受講者の「目的に沿った適切なプログラムと優れた講師の事業であった。」という声から講師の優れた指導技術や人間性を実感した受講者もあり、心理的安全性の高い講習会となった。また、各講師とも、講習全体の意図をくみ取り、3日間をテーマに沿ったストーリー性のある展開で進めることができた。

【課題】

●今回の受講人数は運営側としては最適だったが、もともと参加者が集まりにくい事業であることから、早期からの戦略的な広報を進めることで、受講者数を確保できるようにしたい。



令和6年度青少年自然の家教育事業 日高山小屋地区十勝国立公園指定区画
電気も水道もない環境で災害時に生きる知恵を学ぶ！
アウトドアスキルUPセミナー
兼 自然体験活動指導者（NEAリーダー）養成研修
10/12~14 月祝
こんなお悩みありませんか？
活動がいつも同じ・・・
安全が大事なのは分かるけど、何をしたらよいか・・・
自然体験をやりたい！
開始 13:00 定員 20名
南極地域観測隊員から学ぼう！ 学校での実践例を聞こう！
講師 金村 孔介 氏
NPO法人どころ野外学校ガイド
講師 上ノ澤 千尋 氏
日本シェアリングネイチャー協会 トレーナー
国立日高青少年自然の家
TEL 01457-6-2311 (10:00~17:15)
MAIL hideo@nrcnec.jp (10:20 受付・相談)

